

令和5年6月定例会一般質問通告書

令和5年5月16日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 小椋 憲浩

【通告1番】 次の事項について質問します。 1/1 頁

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 本町のまちづくりについて	令和5年度の町長の施政方針も示され、予算とともに事業も本格的に動き出している中で、あらためて「目指す町づくり」「理想の町づくり」について、選挙公約で示された事や行政として行う日常の業務以外に本町をどんな町にしたいか、どのような町にしていきたいか考えを伺う。	町 長 教育長
2. 水田活用について	本町の水田活用については、他の市町村以上に活発な取り組みが行われ、本町の農業発展に歴史的に大きく貢献している中で、昨今の取巻く状況と今後の取り組みや方向性について伺う。	町 長
3. 防犯カメラの設置について	本町の施設及び公用車等設置されている防犯カメラ（ドライブレコーダー・監視カメラ含む）について、その活用意義と効果を含め今後の設置についての考えを伺う。	町 長 教育長
4. 交通安全対策（自転車のヘルメット着用について）	交通安全対策については様々な取り組みが行われ、町民の理解もあって交通事故は減少傾向にあると考えています。 その中であって、4月より自転車利用者全員のヘルメット着用が努力義務化されました。 全町民が自転車を利用する場面でヘルメットの着用への浸透取り組みについて伺う。	町 長 教育長

令和5年6月定例会一般質問通告書

令和5年5月17日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 井木 裕

【通告2番】 次の事項について質問します。 1/1 頁

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 職員の研修について	<p>研修にもあらゆる種類があるが、今回は、町長自らが行う「町職員研修」について伺う。</p> <p>地方公務員法第7節第39条(研修)第1項に、「職員には、その勤務能率の発揮及び増進のために、研修を受ける機会を与えなければならない。」と記されている。</p> <p>この研修は、任命権者(町長)が行う事が義務付けられているが、1年目に何回行われたか伺う。</p>	町 長
2. 町の歳入と歳出について	<p>一昨年の歳入町税は、収入全体の15%(16億円)、地方交付税39%(42億円)、国・県支出金21%(23億円)、残り町債・基金・諸収入・寄付金・手数料等があります。しかし各事業を行うためには、国・県の支援が必要であると考えます。</p> <p>町長は、この問題について、どのように考えているのか伺う。</p>	町 長

令和5年6月定例会一般質問通告書

令和5年5月22日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 山本 秀正

【通告3番】 次の事項について質問します。 1/2 頁

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 地域おこし協力隊への自立支援について	<p>総務省のホームページでは、地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。とありますが、次のことについてお伺いします。</p> <p>(1) 本町においての地域おこし協力隊制度の成果と課題についてお伺いします。</p> <p>(2) 任期終了後の本町においての起業及び定住の状況についてお伺いします。</p> <p>(3) 任期終了後の起業、定住をはかるため、どのような支援をしているかお伺いします。</p> <p style="text-align: right;">次頁へ続く</p>	町 長

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
2. サウンディング調査について	<p>未利用財産として管理している公共施設を有効に使用するため、民間企業や団体から活用案を募集するサウンディング調査の実施にあたり、対象施設の実勢価格算定のため、不動産鑑定として、昨年度の12月一般会計補正予算で、2,187千円予算化されましたが、次のことについてお伺いします。</p> <p>(対象施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧古布庄小学校・旧逢東保育園・旧以西保育園 ・カウベルホール・赤碕勤労者体育センター <p>(1) サウンディング調査の今後のスケジュールについてお伺いします。</p> <p>(2) 「カウベルホール」も対象施設となっている。条例廃止の施設であるがどう取り扱うのかお伺いします。</p> <p>(3) こういう動きがあると、カウベルホールが再び利用できるのではないかと期待してしまう。</p> <p>「カウベルを廃屋にするのはもったいない」「カウベルを使いたい」「まなびタウンとうはく多目的ホールは狭い」「発表の場所がない」という多くの町民・県民の声を聞くが、この際、過疎債を活用して、必要最小限の修繕等を行い、カウベルホールを再利用することができないかお伺いします。</p>	町 長

令和5年6月定例会一般質問通告書

令和5年5月22日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 田中 肇

【通告4番】 次の事項について質問します。1/1 頁

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 公共施設の予約システムの導入効果と課題について	琴浦町の公共施設を利用する場合、わざわざ役場や教育委員会等に出向くことなく、パソコンやスマートフォンを使って申し込みが出来る、「施設予約システム」を昨年度導入されたが、次について伺う。 (1) 導入個所 (2) 導入による効果 (3) 課題	町 長
2. 公文書の管理について	3月議会の一般質問において、「まちづくりセンター」事業に関する、起案及び決裁文書について町長部局、教育委員会部局それぞれ関係文書が存在しないという、公的機関ではありえない実態が明らかになった。これは「公文書管理法」第4条に規定する行政文書の作成義務を怠るというコンプライアンスからかけ離れた責任重大な問題である。 前町長の行政事務ではあるが、現町長の責務として他にも同様な行政事務が行われていないか調査・点検されたのか、また原因の究明と再発防止に取り組まれたか伺う。	町 長
3. 東伯総合公園の町サッカー場管理について	東伯総合公園の町サッカー場については、芝の養生のために3月から使用中止になっているが、現状の管理状況について伺う。	町 長 教育長

令和5年6月定例会一般質問通告書

令和5年5月23日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 川本 善孝

【通告5番】 次の事項について質問します。1/1 頁

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 農業の担い手、確保 施策について	<p>(1) 本年度当初予算では新規に「退職就農条件整備事業補助金」を創設するなど、農業の担い手確保に努力していると承知している。しかし、農業従事者の高齢化もあり、担い手の大幅減少に歯止めがかかっていない現状である。</p> <p>担い手の育成、確保について、より体系的・系統的・具体的な取組みが必要と考えるが、町長の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 同じく本年度当初予算で「環境保全型農業直接支払交付金」として、有機農業などに取組む農業団体に対して交付金が支払われているが、この有機農業の今後の発展策について町長の所見を伺いたい。</p>	町 長
2. 「核兵器廃絶・平和 宣言の町」としての 取組みについて	<p>本町は合併時にいち早く「核兵器廃絶・平和宣言の町」となった。</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻、G7広島サミット等もあり、本町でも8月の原爆の日に向けて何か取組むべきと考えるが、町長、教育長の所見を伺いたい。</p>	町 長 教育長

令和5年6月定例会一般質問通告書

令和5年5月23日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 谷田 順子

【通告6番】 次の事項について質問します。 1/2 頁

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 琴浦町における保育行政に対する町長の基本的な考えについて	<p>令和5年3月に改訂された「第2期琴浦すくすくプラン」によると、琴浦町の女性の労働力率は、全国や鳥取県よりも概ね高く、出産・育児期においても低下は見られないとしています。</p> <p>また、すくすくプランの見直しに向けて実施されたニーズ調査では、保育サービスに満足していると回答した人の割合は65.7%あり、調査の都度上昇しています。</p> <p>これらのことから、家庭と職場の両立を図りながらより良い保育サービスの提供に向けて日々努力をしている保育現場の様子をうかがい知ることができます。</p> <p>しかし、今年3月25日付日本海新聞に「保育士サービス残業常態化」と題した記事が掲載されており、琴浦町の状況が気になるところです。</p> <p>そこで、町長に以下のことについての考えと対策についてお伺いします。</p> <p>(1) 教育・保育の質の向上と保育教諭・保育士の負担軽減を目的に国の基準を上回る町独自の配置基準を設けているとのことであったが、町の配置基準と実際の配置状況はどうなっているのか。</p> <p>また、保育士の配置基準は正規職員がベースであると考えるが実態はどうなっているのか。</p> <p style="text-align: right;">次頁へ続く</p>	町 長

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
	<p>(2) 改訂されたすくすくプランの教育保育提供体制の確保において「保育士不足については近年全国的な問題ですが、琴浦町においても課題となっている」とあり、今年3月末に発表された人事異動では、退職保育士7名に対し、採用された保育士は1名であったが、配置基準をどのように担保しているのか。</p> <p>(3) 新聞記事によると「日中は園児につきっきりになるため、事務作業などは家に持ち帰ることも日常茶飯事で、残業申請がしづらい」との現場の声を掲載している。 琴浦町の実態をどのように把握しているのか伺う。</p>	

令和5年6定例会一般質問通告書

令和5年5月23日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 手嶋 正巳

【通告7番】 次の事項について質問します。1/1 頁

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 消防用オートバイ導入について	近隣の湯梨浜町は数十年前から導入されており、隣の北栄町も令和3年に2台導入されている。何れも必要性があって導入されていると思います。 琴浦町は、導入される考えはないか伺う。	町 長
2. 防犯カメラ設置の費用助成について	現在、町内の公民館なり保育園、小学校、中学校の防犯カメラの設置状況はどうなっているのか伺います。 例えば、申請があれば助成は購入費用の半額で、1台につき最大10万円まで、1自治会当たり2台が上限でどうでしょうか。	町 長 教育長

令和5年6月定例会一般質問通告書

令和5年5月23日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 川本 正一郎

【通告8番】 次の事項について質問します。 1/1 頁

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 地域農業振興について	<p>(1) 昨年度、琴浦まちづくりビジョンとして3次琴浦町総合計画が策定された。政策として、「魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり」の中で現在の状況と本年度の取り組み状況を伺う。</p> <p>(2) 今年度も依然として農業を取り巻く環境は、地域農業者の高齢化や担い手の減少も進んでいる。また農業資材や飼料価格の高騰により影響を受けている状況をどのように認識されているのか伺う。</p> <p>(3) 琴浦町の農業振興対策を考える中で次の項目について現在の状況と問題点を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 今年度の農地作付け2) 集落営農組織などや生産組織3) スマート農業の進捗と取り組み4) 地域農業の担い手と後継者5) 離農と新規参入農家6) 農家の雇用と外国人技能研修生7) 農業体験や収穫体験の計画	町 長

令和5年6月定例会一般質問通告書

令和5年5月23日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 押本 昌幸

【通告9番】 次の事項について質問します。 1/2 頁

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 議場のバリアフリー化の考えはないのか	<p>国は障害者が暮らしやすい共生社会の実現を掲げ、東京パラリンピックも開催された中、住民に身近な地方議会でバリアフリーの取り組みが遅れている実態がある。共同通信が最近全 1788 議会の議長に調査を実施。バリアフリーが「進んでいない」との回答は市区町村議会では計 57%と多く、これは琴浦町も例外ではない。(2/26「共同通信」)</p> <p>鳥取県議会の代表者会議が5月19日に開かれ、築60年の議会棟の改修案が出され、議場のバリアフリー化を進めるとされた。議場内には、配布資料や配信映像などが写る大型スクリーンを設置。各議員席にボタンを整備し、電子採択システムを導入するなどとされる。(5/20「日本海新聞」)</p> <p>また、鳥取市議会では、聴覚障害者が傍聴しやすい環境を築こうと、本会議中継に字幕化が始まっている。(2022/2/19「日本海新聞」)</p> <p>議会のバリアフリーの配慮事項事例としては・「本会議場にスロープを設置段差解消」・「高さを調整できる演壇を導入」・「傍聴席に車椅子専用スペース」・「本会議場に介助者が同伴できる」等が挙げられる。(2/26「日本海新聞」)</p> <p>琴浦町議会でも、5年前には車椅子の議員立候補者がいた。また、現議員間でもいつだれが車椅子になるかもしれない。これらについて、町の方針を伺う。</p> <p style="text-align: right;">次頁へ続く</p>	町 長

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
<p>2. 市町村の特性や課題を反映する「市町村類型」が令和2年度の国勢調査で移行したことについての見解を求める</p>	<p>今年も5月に総務省から「財政状況調査関係資料」として「令和3年度市町村決算カード」が出た。そのなかの資料に市町村が持つ特性や課題を反映する「市町村類型」というのがあり、琴浦町は初めて「IV-0」から「IV-1」に移行した。</p> <p>それは、令和2年国勢調査を反映した「産業構造」の「第1次産業就業人口」が「20%」(19.1%)を切ったことによる。</p> <p>①「市町村類型」が変わるといふことはどういうことを意味するか。</p> <p>②「市町村類型」が「IV-0」から「IV-1」に変わったがどう対応すべきか。</p> <p>第1次産業人口が減り続ける状況について、町長の見解を伺う。</p>	<p>町長</p>

令和5年6月定例会一般質問通告書

令和5年5月23日

琴浦町議会議長 大平 高志 様

琴浦町議会議員 桑本 始

【通告10番】 次の事項について質問します。1/1 頁

質問事項	質問要旨(内容)	答弁者
1. 生活困窮者に食料品・日用品を24時間無償提供する「コミュニティフリッジ」の設置について	<p>岡山市と岡山市社協が共同で配信する「岡山親子応援メール」に約1,600世帯の児童扶養手当受給世帯、就学援助世帯、経済の影響による仕事の事情、離婚や介護などの家庭の事情等の生活困窮者に対し、「困ったときは、お互いさま」の気持ちで助け合う（希望者約250人）。この助け合いの精神で提供をくださる個人、企業・商店からお預かりした食料品・日用品を設置された冷蔵庫や冷凍庫にて渡す仕組み。</p> <p>利用される方は、利用登録し電子ロックを提供し都合の良い時に取りに行くことが可能で、全国に広がりつつある「コミュニティフリッジ」の設置を。</p>	町 長
2. 中山間地域の農地保全、地域資源の活用、生活支援の農村RMO（農村型地域運営組織）形成推進事業の導入について（農水省）	<p>中山間地域の人口減少と農業集落の状況は、条件不利地域ほど人口減少は顕著であり、集落内の戸数減少は著しい状況。集落戸数が10戸を下回ると、農地の保全等を含む集落活動の実施率が急激に低下。今後の人口動態を踏まえると、中山間地域での集落活動実施率は更に低下し、食料供給機能や多面的機能の維持・発揮に支障が生じる恐れがある。</p> <p>複数の集落や農業法人、社協、女性会、PTA、自治会等多様な地域の関係者とが連携して協議会を設立し、農村RMOの活動の基礎となる「農地保全」「地域資源の活用」「生活支援」に係る将来ビジョンを策定し、これに基づき事業を実施する。R4～R8農水省の予算で、R8までに全国100地区支援する。</p> <p>各地区の計画作成や実証事業などに、最大10,000千円の助成（事業期間は最大3年間）事業の導入について伺う。</p>	町 長